

■**光仁天皇(白壁王)** 49代天皇。天智天皇の孫。〈宇佐八幡神託〉後、桓武天皇登場までの繋ぎとして、高齢ながら即位。  
こうにんてんのう  
・ ・ ・ ・ ・ 709= 生。天智天皇の孫。施基親王(志貴皇子)の第6子。母は紀朝臣椽姫。白壁王と称した。  
平城京遷都・ 710= 1歳 :

養老律令・ ・ 718= **9歳** :

**藤原不比等没** 720=11歳 :

**渤海交流始**・ 727=**18歳** :

**長屋王の変**・ 729=20歳 :

・ ・ ・ ・ ・ 736=**27歳** :

**藤原四卿没**・ 737=28歳 : 藤原四卿死去による橘諸兄政権誕生とともに、無位から従四位下に叙せられ、

藤原広嗣の乱 740=31歳 :

行基初大僧正 745=**36歳** :

・ ・ ・ ・ ・ 746= 37歳 : 従四位上,

行基没・ ・ ・ 749=40歳 :

大仏開眼・ ・ 752=43歳 :

**鑑真来日**・ ・ 754=**45歳** :

聖武上皇没・ 756=47歳 :

橘奈良麻呂乱 757=48歳 : 正四位下,

孝謙天皇讓位 758=49歳 : 正四位上,

万葉集最終歌 759=50歳 : 従三位に進んだ。

**光明皇后没**・ 760=51歳 : 光明皇太后の葬儀には山作司を務め、

新羅征討計画 762=53歳 : 中納言となる。

押勝暗殺計画 763=**54歳** :

**惠美押勝の乱** 764=55歳 : 藤原仲麻呂の乱が起こると、正三位となり、

・ ・ ・ ・ ・ 765=56歳 : 勲二等を受爵。同年、称徳天皇が紀伊国へ行幸する折には御前次第司長官を務め、

道鏡法王・ ・ 766=57歳 : 大納言となる。

この間、藤原氏の大官と良好な関係をつくり上げ、

**宇佐八幡神託** 769=60歳 :

称徳天皇没・ 770=61歳 : \*称徳が崩御すると、左大臣藤原朝臣永手や同百川・良継らの強力な支持を背景に、諸王中年齢が長じており、先帝の功があるという理由を記した遺宣を根拠に皇太子に立てられ、先帝を大和国添下郡に葬り、令旨をもって道鏡の左遷を發表し、繁多となった令外官の整理をはかった後、即位。宝亀と改元し、聖武天皇第1皇女である妃の井上内親王を皇后とする。皇統は天武系から天智系に転換することになった。

東大寺完成・ 771=62歳 : 他戸親王を皇太子としたが、

厭魅事件・ ・ 772=**63歳** : 讒言を受けて皇后を廃し、その実子である皇太子も廃し、

山部立太子・ 773=64歳 : \*夫人高野新笠の子山部親王を皇太子とした。

政治面では道鏡時代の修正がはかられ、寺院・僧尼関係の対策が重視され、僧尼の本譜の調査、修行の自由公認、加墾禁止令の廃止などが行なわれた。官制改革として国司制の改善にも手をつけている。しかし地方では国司の不正や豪族間の抗争などに起因する“神火”(正倉の焼亡)が頻発し、奥羽では蝦夷の反乱が相次ぐようになる。

**桓武天皇即位** 781=**72歳** : \*病により皇太子に讓位し、没した。